

第1学年1組社会科学習指導案（地理的分野）

平成30年11月30日（金） 第5校時

1 単元名 世界の諸地域 北アメリカ州 ～ さかんな農業や工業の特色 ～

2 単元について

(1) 教材観

本単元は、新学習指導要領の2内容のBの(2)に以下のように位置づけられるものである。

B 世界の様々な地域

(2) 世界の諸地域

次の①から⑥までの各州を取り上げ、空間的相互依存作用や地域などに着目して、主題を設けて課題を追究したり解決したりする活動を通して、以下のア及びイの事項を身に付けることができるように指導する。

①アジア ②ヨーロッパ ③アフリカ ④北アメリカ ⑤南アメリカ ⑥オセアニア

ア 次のような知識を身に付けること。

(ア) 世界各地で顕在化している地球的課題は、それが見られる地域の地域的特色の影響を受けて、現れ方が異なることを理解すること。

(イ) ①から⑥までの世界の各州に暮らす人々の生活を基に、各州の地域的特色を大観し理解すること。

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること

(ア) ①から⑥までの世界の各州において、地域で見られる地球的課題の要因や影響を、州という地域の広がりや地域内の結び付きなどに着目して、それらの地域的特色と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現すること。

つまり、世界を幾つかの地域に区分し、空間的相互依存作用や地域などに着目して、それぞれの州に暮らす人々の生活の様子を的確に把握できる事象や、そこで特徴的に見られる地球的課題と関連付けて主題を設けて追究させ、各州の地域的特色やそこで見られる地球的課題と地域的特色の関係をとらえさせることをねらいとしている。また、「各州の地域的特色を大観し理解する」と示されているように、州規模で地域的特色を明らかにすることが大切であり、州内の地域的特色を羅列的に細かく学習するのではないため、指導に当たっては、概観し身に付けた基礎的・基本的な知識が後の学習で活用され、概略的な世界像が形成できるように学習内容を構成する必要がある。また、内容の取扱いには、「州ごとに設ける主題については、各州に暮らす人々の生活の様子を的確に把握できる事象を取り上げるとともに、そこで特徴的に見られる地球的課題と関連付けて取り上げる。取り上げる地球的課題については、地域間の共通性に気付き、我が国の国土の認識を深め、持続可能な社会づくりを考える上で効果的であるという観点から設定すること。また州ごとに異なるようにすること。」（内容の取扱い）と明記され、地球的課題を地域という枠組みの中で考察できるようにするものとなっている。また、生徒の発達段階を踏まえ、世界の様々な地域を生徒自身が地球的課題の要因や影響について捉え、我が国との比較や関連を図る視点をもって主

題を設定し、追究させることで、持続可能な社会づくりを考えることは、歴史的分野や公民的分野との学習につながるものである。

小、中、高等学校の一貫性からみると、中学校社会科地理的分野を特色づける学習でもあり、小学校での学習との関わりも考慮した指導計画の作成が必要であると考え。なお、本単元と関わる小学校の学習としては、小学校新学習指導要領の第5学年2内容の(2)ア・イ、(3)ア・イに以下のように位置づけられている。

(2) 我が国の農業や水産業における食糧生産について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるように指導する。

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(ア) 我が国の食料生産は、自然条件を生かして営まれていることや、国民の食料を確保する重要な役割を果たしていることを理解すること。

(イ) 食料生産に関わる人々は生産性や品質を高めるよう努力したり輸送方法や販売方法を工夫したりして、良質な食料を消費地に届けるなど、食料生産を支えていることを理解すること。

(ウ) 地図帳や地球儀、各種の資料で調べ、まとめること。

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

(ア) 生産物の種類や分布、生産量の変化、輸入など外国との関わりなどに着目して、食料生産の概要を捉え、食料生産が国民生活に果たす役割を考え、表現すること。

(イ) 生産の工程、人々の協力関係、技術の向上、輸送、価格や費用などに着目して、食料生産に関わる人々の工夫や努力を捉え、その働きを考え、表現すること。

(3) 我が国の工業生産について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるように指導する。

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(ア) 我が国では様々な工業生産が行われていることや、国土には工業の盛んな地域が広がっていること及び工業製品は国民生活の向上に重要な役割を果たしていることを理解すること。

(イ) 工業生産に関わる人々は、消費者の需要や社会の変化に対応し、優れた製品を生産するよう様々な工夫や努力をして、工業生産を支えていることを理解すること。

(ウ) 貿易や運輸は、原材料の確保や製品の販売などにおいて、工業生産を支える重要な役割を果たしていることを理解すること。

(エ) 地図帳や地球儀、各種の資料で調べ、まとめること。

イ 次のような思考力、判断力、現力等を身に付けること。

(ア) 工業の種類、工業の盛んな地域の分布、工業製品の改良などに着目して、工業製品の概要を捉え、工業生産が国民生活に果たす役割を考え、表現すること。

(イ) 製造の工程、工場相互の協力関係、優れた技術などに着目して、工業生産に関わる人々の工夫や努力を捉え、その働きを考え、表現すること。

(ウ) 交通網の広がり、外国との関わりなどに着目して貿易や運輸の様子を捉え、それらの役割を考え、表現すること。

第5学年では、食料生産と工業の盛んな地域の具体的な事例を通して、消費者や生産者の立場などから多角的に考えて、これからの発展について、自分の考えをまとめ、我が国の産業を中心に産業の果たす役割や外国との関わりなど、産業についての基礎的・基本的な知識を身に付けることとなっている。

また、小学校新学習指導要領の第6学年の2内容の(3)ア・イに以下のように位置づけられている。

(3) グローバル化する世界と日本の役割について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるように指導する。

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(ア) 我が国と経済や文化などの面でつながりが深い国の人々の生活は、多様であることを理解するとともに、スポーツや文化などを通して他国と交流し、異なる文化や習慣を尊重し合うことが大切であることを理解すること。

(イ) 我が国は、平和的な世界の実現のための国際連合の一員として重要な役割を果たしたり、諸外国の発展のために援助や協力を行ったりしていることを理解すること。

(ウ) 地図帳や地球儀、各種の資料で調べ、まとめること。

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

(ア) 外国の人々の生活の様子などに着目して、日本の文化や習慣との違いを捉え、国際交流の果たす役割を考え、表現すること。

(イ) 地球規模で発生している課題の解決に向けた連携・協力などに着目して、国際連合の働きや我が国の国際協力の様子を捉え、国際社会において我が国が果たしている役割を考え、表現すること。

第6学年では、日本とのつながりが深い国の文化や人々の生活からアメリカ等を学習し、国連を中心とした国際協力と日本の関わりなどを通じて、地球規模で発生している課題の解決に向けた連携・協力など、中学校の世界地誌の内容に関連する基礎的な学習をしている。

小学校の学習内容を踏まえつつ、中学校の学習内容としてさらに深めるために、北アメリカ州の地域的特色と地球的課題の要因や影響などを理解できるように、北アメリカ州の単元では、生徒の発達段階に応じた単元を貫く課題の設定（問いの設定）と、地理的な見方・考え方を働かせるような各時間における「問い」の立てかたを工夫することが重要であると考える。

本単元の北アメリカ州は、世界第2位の面積をもつカナダ、同3位の面積をもつアメリカ合衆国、メキシコ湾に面したメキシコやキューバ、カリブ海の島からなる国々がある。南北に模式的に気候帯が広がり、アラスカ地方の寒帯からパナマの熱帯まで南北に多様な気候がみられる。広大な大陸の西側には、南北に貫くロッキー山脈や大自然が作り出したグランドキャニオンなど雄大な国立公園が見られ、大陸の中央部にはグレートプレーンズが広がり、北アメリカ最大のミシシッピ川が肥沃な国土を潤すなど、雄大で多様な自然環境がみられる。また、もともとネイティブ・アメリカンなどの先住民が暮らしてきた地であったが、コロンブスの新大陸発見以後、メキシコ以南がスペイン・ポルトガル領として、アメリカ以北はイギリス系移民によって開拓されたという歴史があり、人種の多さや言語・宗教などに歴史的な影響がみられる地域でもある。第一次世界大戦以後、世界最大の経済大国になったアメリカ合衆国とのつながりが強い国が地域内には多く、産業や経済、政治や文化など様々な面での相互依存関係がある。近年、NAFTAの見直しなどの議論もあがっているが、地域内外にアメリカ合衆国の与える影響は大きい。

本単元では、北アメリカ州の自然、産業、生活・文化、歴史的背景などを概観させた上で、北アメリカ州の中心となっているアメリカ合衆国について取り上げて、主題を設定し、地域的特色と地球的課題に関連付けて考察する。その際、世界に大きな影響力を与えているアメリカの産業の成り立ちと変容、その特色について、位置や分布、経済的な影響など多面的に捉えたり、生徒にとって身近な日本の産業との比較を通して多角的に考察したりし、その地域的特色や地球的課題を適切にとらえ表現できるような学習の展開を図る。

(2) 生徒観

《省略》

(3) 指導観

生徒の実態からは、北アメリカ州については、生徒自身の生活体験やメディア等から得たと考えられる少ない知識しかないことが分かる。その実態をふまえ、学習した内容を自分の言葉で適切に表現できるようにすることを旨とし、本単元の指導にあたっては次のことに配慮して指導・支援を行う。

- ① 設定する主題に基づき、様々な地理的事象から追究して地域的特色をつかむことができるように追究のイメージ図（知識構成型ジグソー法）を作成し、学習計画・内容の精選や改善を図る。
- ② 主題を設定し、追究していく際に我が国、あるいは私たちの暮らしとの関連を適宜扱う。その際、さまざまな資料に基づいて把握できるように資料やワークシート等を工夫する。
- ③ 平易な語句や資料で授業を組み立て、内容を分かりやすく理解させる。
- ④ 実物資料やレプリカ、ビデオ、ICT等の視覚資料を効果的に活用し、生徒の興味・関心を高め、実感を持って地理的事象をとらえられるようにする。
- ⑤ 様々な情報や資料などから、その地域の地理的事象を見出し、地理的な見方・考え方をはたらかせて、その特色を適切に表現する活動を通して地理的特色をとらえさせる。その際、我が国や他の地域、世界との比較・関連付けなどを通して、多面的・多角的に追究させる。

3 単元の目標と評価規準

(1) 目標（移行措置期間のため現行学習指導要領に基づく）

- ・北アメリカ州の自然環境、産業、生活・文化、歴史的背景などの特色について概観し、地図帳や地球儀、各種の資料を活用しながら、主題を設定し、意欲的に追究することができる。
- ・北アメリカ州の地域的特色を主題に基づいて意欲的に追究し、その地域的特色と地球的課題（グローバル化の問題）を多面的・多角的に考察し、適切に表現することができる。
- ・収集した資料から、北アメリカ州の地域的特色を適切に読み取ることができる。
- ・北アメリカ州、特にアメリカ合衆国を中心とした地域的特色について、基礎的・基本的な知識を身につけている。

(2) 評価規準（移行措置期間のため現行学習指導要領に基づく）

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
・北アメリカ州の地域的特色を、アメリカ合衆国を中心として理解するために、様々な資料から主題に基づいて、意欲的に追究している。	・北アメリカ州、特に世界的な影響力をもつアメリカ合衆国について、多面的・多角的に考察し、地球的課題と関連づけて表現している。	・北アメリカ州、特にアメリカ合衆国に関するさまざまな資料から、情報を適切に選択して読み取って、まとめていく。	・北アメリカ州の自然環境、産業、生活・文化、歴史的背景について、アメリカ合衆国を中心として、その地域的特色を理解している。

4 単元の指導計画（4時間扱い）

(1) 単元の指導構想（北アメリカ州）

北アメリカ州を大観する学習を踏まえて、アメリカ合衆国を対象に「なぜアメリカ合衆国は世界の超大国と呼ばれるのだろうか？」という問いを立て、アメリカ合衆国の自然環境、産業の分布（農業・工業）、大量生産・大量消費の経済大国が世界に与える影響などを地域の人々の生活と関連付けて多面的・多角的に考察して、グローバル化に関わる一般的課題とアメリカ合衆国における地域特有の課題とをとらえる。

(2) 指導計画

時	学習内容・学習活動	指導上の留意点(*)と具体的評価規準()
1	<p>北アメリカ州をながめて 「北アメリカ州の人々の生活の舞台」</p> <ul style="list-style-type: none"> 写真やVTRをもとに、自然環境の違いと人々のくらしを概観し、白地図に書き込む作業などを通して自然環境などの特色をまとめる。 北アメリカ州で中心となっている国について考え、理由を考える。 単元を貫く主題の設定。 <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px 0;"> <p>「なぜアメリカ合衆国は世界の超大国と呼ばれるのだろうか？」</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> 今の段階での自分の答えを書く。 	<p>指導上の留意点(*)と具体的評価規準()</p> <ul style="list-style-type: none"> *ICTを活用し、分かりやすい映像や写真などの資料を活用して意欲的に学習に取り組めるようにする。 *概観する学習を通して北アメリカ州の大まかなイメージが形成できるように工夫する。 (知) 北アメリカ州の自然環境や人々のくらしなどから、北アメリカ州の概観を理解している。 *白地図の作業については反転学習を基本とする。 *GDP表などの比較からアメリカ合衆国の地域内外への影響力をとらえさせて、単元を貫く学習課題を立てる。 <p>※単元の学習のまとめで振り返りの材料とする。</p> <p>(関) 北アメリカ州の地域的特色について、主題に基づいて、意欲的に追究している。</p>
2 本 時	<p>アメリカ合衆国の農業の特色と課題 「なぜアメリカ合衆国の農産物の価格は安いのか？」</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習課題について、資料から読み取り、アメリカ合衆国の地理的特色と関連づけて考察する。 知識構成型ジグソー法 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; text-align: center; margin: 10px 0;"> <p>個人 ↓ 小グループ (エキスパート) ↓ 小グループ (ジグソー) ↓ 学級全体 (クロストーク) ↓ 個人</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> アメリカ合衆国の農業を通して、アメリカの地理的特色をとらえ、自分の言葉でまとめる。 アメリカ合衆国の産業と地球的課題「グローバル化」の問題を考察する。 	<ul style="list-style-type: none"> *実物やICT等で、生徒の生活体験と結びつけて、疑問を持たせるような導入をして課題をつかませる。 *何が分かれば、課題に答えられるのか? という視点から、アメリカ合衆国と日本の農業との比較を例にアメリカ合衆国の農業の特色を捉えさせる。 【エキスパート活動】…机間支援 A…広大な国土を生かした適地適作の農業 B…大規模な農業による大量生産 C…企業的な農業とアグリビジネス D…世界の食糧庫 *読み取った情報の意見交換から、アメリカ合衆国でどんな農業が行われているのか考察させ記述させる。 【ジグソー活動】…班ごとの支援 *班の意見を全体発表で共有する。 【クロストーク】 *クロストークを受けて、再度、個人で考察させ、改めてアメリカ合衆国の農業の特色を記述させる。 (思) 北アメリカ州の主題に基づいて、アメリカ合衆国の地域的特色を追究し、農業の特色について自分の言葉で適切に表現している。 *自身の答えがより良いものとなったのか確認し、アメリカ合衆国の農業生産における課題に気づかせる。 →地球的課題に触れた後に、自己評価(本時の振り返り)を記述させる。

3	<p>アメリカ合衆国の工業の特色と課題</p> <p>「なぜアメリカ合衆国は優れた工業製品をつくることができるのか？」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なぜアメリカ合衆国は優れた工業製品をつくることができるのかについて、資料から読み取り、アメリカ合衆国の地理的特色と関連づけて考察する。 ・知識構成型ジグソー法 ※2時間目と同様（略） ・アメリカ合衆国の工業を通して、アメリカの地理的特色をとらえ、自分の言葉でまとめる。 ・アメリカ合衆国の産業と地球的課題「グローバル化」の問題を考察する。 	<ul style="list-style-type: none"> *世界中に影響を与えているアメリカ合衆国の代表的な工業製品に触れて、生徒の実際の生活との関わりから、学習課題を立てる。 *何が分かれば、課題に答えられるのか？という視点から、アメリカ合衆国の特色ある工業や支える人々などを例に、アメリカ合衆国の工業の特色を捉えさせる。 【エキスパート活動】…机間支援 【ジグソー活動】…班ごとの支援 【クロストーク】…記述内容の整理等 <p>(技) 北アメリカ州の主題に基づいて、アメリカ合衆国の地域的特色について様々な資料を適切に読み取り、工業の特色について自分の言葉で適切にまとめている。</p> <ul style="list-style-type: none"> *アメリカ合衆国の工業生産における課題に気づかせる。 →地球的課題「グローバル化」の観点から、世界に影響を与えるアメリカ合衆国の工業と、その課題に気づかせる。
4	<p>アメリカ合衆国の文化と人々の特色と課題</p> <p>「なぜアメリカには人々が多く集まるのか？」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アメリカ合衆国への移民の資料などから、今までの学習を振り返り、アメリカ合衆国の魅力をとらえる。 ・アメリカ合衆国が直面している問題をグローバル化の観点からとらえ、その影響について、日本との関連をふまえて自分の言葉でまとめさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> *VTR資料などから、アメリカに人々が集まる理由を考えさせる。 *何が分かれば、課題に答えられるのか？という視点から、アメリカ合衆国の人々を引き付ける魅力を考えさせる。 *VTR資料等で、移民が多い理由や、移民の世界的な問題点などに触れて、アメリカ合衆国を支える人々や文化に着目させてまとめさせる。 *単元を貫く学習課題に対する自分の答えを記述し、アメリカ合衆国で見られるグローバル化の問題を考察して自分の言葉でまとめる。 <p>(思) アメリカ合衆国の地域的特色と地球的課題の要因や影響について、主体的に追究、解決しようとしている。</p>

5 本時の学習

(1) 本時の目標（評価規準と判断基準）

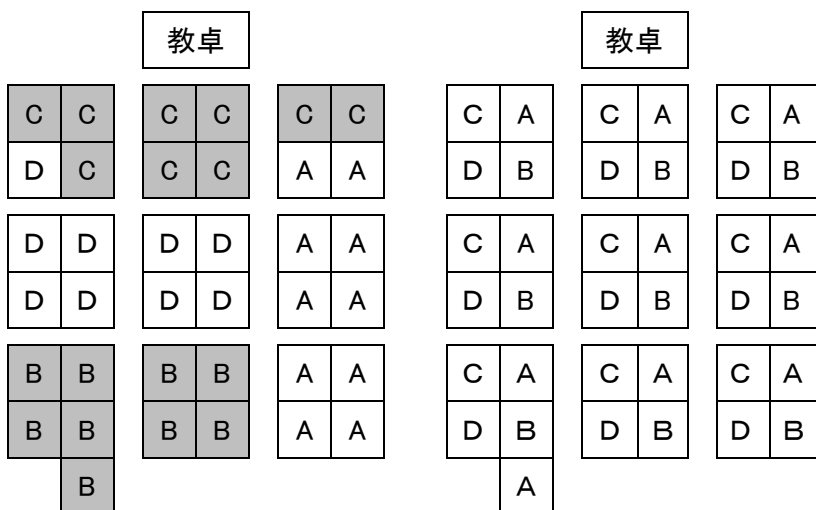
	学習活動における 評価規準	判断基準		評価方法
		B「おおむね満足できる」	A「十分満足できる」	
思 判 表	北アメリカ州の主題に基づいて、アメリカ合衆国の農業の特色を追究し、自分の言葉で適切に表現している。	・アメリカ合衆国の農産物の価格と農業の特色の関係について、資料などを根拠に自分の言葉でまとめることができる。	・アメリカ合衆国の農産物の価格と農業の特色の関係について、資料などを根拠に多面的・多角的に考察し自分の意見を適切に述べるができる。	・ワークシート ・発表

(2) 本時の展開 ※ 授業開始時はエキスパート班の座席で行う。

	学習活動と内容	指導上の留意点*と具体的評価規準 ()、研究課題【】	資料等
導入 5分	1 スーパーマーケットの写真から多くの農産物が輸入されていることに着目する。	*スーパーマーケットの写真などから、多くの農産物をアメリカから輸入していることにふれる。 *アメリカ産牛肉と日本産の牛肉の価格の違いに着目させる。深入りせずにコンパクトに取り上げる。	・写真 ・牛肉(実物) ・生徒アンケート
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p>課題</p> <p>なぜ、アメリカ合衆国の農産物の価格は安いのか？</p> </div>			
展開 40分	2 アメリカ合衆国の農業は、日本とどんな違いがあるのか想像する。	*課題に対して、自分の今の意見・考えを記述させる。 【自らじっくりと考える時間】 *課題に対して、何が分かれば答えられるのかを考えさせ、全体で確認してから、エキスパート活動に入る。 【課題解決のヒント・学びの方向性の確認】 例：アメリカと日本で同じ農業なのか？ 何が、どう違うのか？	・ワークシート
	3 資料をから個人で情報をつかむ。 【エキスパート活動】	*資料A B C Dからアメリカ合衆国の農業の特色を読み取り重要だと思ったところに下線を引かせる。 A…広大な国土を生かした適地適作の農業 B…大規模な農業による大量生産 C…企業的な農業とアグリビジネス D…世界の食料庫	【ジグソーABCD】 ・B 5プリント
	4 小グループで読み取った情報を確認する。	*資料について下線を引いたところについて意見交換し、伝えたいことを確認させる。(エキスパート活動)	
	5 元の生活班に戻り、それぞれが持ち寄った情報を元に、アメリカ合衆国がなぜ安い価格の農産物を輸出できるのかを考察し、まとめる。 【ジグソー活動】	*4つの資料から、班で課題に対する答えをまとめさせる。 【学び合い：様々な情報を伝え合い、より良い答えを導き出す。】 ・複数の情報を整理	※座席移動 ※言語活動の充実 ※主体的・協働的な学び ・ワークシート
	6 各班でまとめた答えを発表する。 【クロストーク活動】	*クロストークで、他の班(生徒)の発表を聞くことで、考えを深めたり、広げられたりできるように発表の聞き方などを助言したり、場合によっては補足的な説明を入れたりする。	

<p>7 クロストークを受けて、再度自分で課題に対する答えを記述する。 (数人発表)</p> <p>8 本時の学習で、はじめの答えと、最後に書いた答えを比較し、より良い答えになったかについて考え、自己評価をワークシートに記述する。</p> <p>9 次時の見通し</p>		<p>*再度、自分なりの言葉で課題に対する答えを考え、アメリカ合衆国の農業の地域的特色を考察させ、適切な言葉で表現させる。 (思・判・表)</p> <p>● B基準 → A基準への支援 まとめる際、なぜアメリカ合衆国の農産物が世界中に輸出されているのかという視点など多面的・多角的に考察できるように助言を行う。</p> <p>● B基準に達しない → B基準への支援 アメリカ合衆国の農業について、キーワードとなる言葉に着目させて、自分の考えを書くように助言を行う。</p> <p>*何人か指名し発表させることで、アメリカ合衆国で行われている農業を多面的・多角的にとらえさせ、アメリカ合衆国の農業の地域的特色を理解させる。</p> <p>*アメリカ合衆国の農業の特色を自分でより良い答えにまとめられたか確認させ、世界有数の農産物の生産国・輸出国アメリカが世界に与える影響を紹介して、グローバル化の問題点や日本の農業についてふれる。 例：企業的な農業→世界に影響を与えるアグリビジネス 食品ロスの問題→途上国の飢餓など 日本の牛肉→和牛としての世界的な評価など</p> <p>*アメリカ合衆国の工業製品にふれて、アメリカ合衆国の工業の特色について学習することを知らせる。</p>	
---	--	---	--

7 備考 在籍生徒数 男子 20名 女子 17名 合計 37名



生徒座席について

- ・授業開始時はエキスパート班で行う。
- ジグソー活動は生活班で4人班をつくる。
- 人数の関係で9班のみ5人班となっている。
- 当日、欠席生徒が出た場合は、A～Dが揃うように調整をする。
- ・ジグソー活動の座席は生活班をそのままにしているため、学力等による配慮や入れ替え等は行わない。

授業開始時 (エキスパート活動) 生活班 (ジグソー活動・クロストーク)